

5-6

業務意欲向上

利用者処遇

施設間交流を通しての業務改善、意欲向上への取り組み

福祉業界に勤める事を決めた想いを思い返して

特別養護老人ホーム 塩浜ホーム

発表者：生活相談員 友田 苑子	共同研究者：介護職員 齋木 信人
所在地：東京都江東区塩浜 2-7-17	共同研究者：介護職員 金子 美由紀
TEL：03-5683-5571	E-mail：shiohamahome@bz01.plala.or.jp
FAX：03-5683-5575	URL：http://www.asokakai.net/siohama/

今回の発表の施設 またはサービスの 概要	社会福祉法人あそか会が母体である塩浜ホームは、法人内では4番目の特養として平成7年7月に開設されました。特養60床・ショートステイ10床に居宅介護支援事業所が併設された小規模の施設ですが、「利用者本位」の精神を大切に、地域に根ざされた施設を目指して日々努めています。
----------------------------	---

〈取り組んだ課題〉 ○職員の業務意識の把握・見直し ○他施設との交流により業務視野を広げる ○中堅職員からの新たな活動の提案・啓発 ○業務の意欲向上 〈具体的な取り組み〉 【活動目的の説明・協力依頼】 ○施設内の各部署へ活動目的・計画の説明を行い、協力を依頼。 ○施設管理者を通して、他施設への協力を依頼。協力施設相談員へ活動目的について説明を行う。 ○生活係（介護職員）へ、参加希望職員の募集を募る。 対象者：中堅職員（勤続2～4年目職員）、2名 【事前訪問・日程調整】 ○協力施設へ相談員が訪問し、活動目的・今後の計画について説明を実施。 協力施設の参加職員の募集を依頼。 施設間交流の日程調整を行う。 【事前意識調査】 ○参加職員へ活動目的について説明を行い、業務意識の事前把握のため事前調査書の記載を依頼。 （提出期限：2週間程度） ○協力施設へ参加職員の事前調査書を提出。 施設間交流当日のながれ、質問内容を事前にFAX送信する。	【施設間交流】 ○7月14日（火）14:00～17:00 1時間 施設内見学 2時間 意見交換、業務見学 〈活動の成果と評価〉 ○立候補にて参加職員募集する事で、職員の業務取り組み姿勢について把握することができた。 ○事前調査書の記載を行うことで、個々の職員が自身の業務について見直すことができた。 ○福祉の仕事に就ききっかけ、やりたかった処遇について考え直し気持ちを新たに業務に取り組むことができた。 ○直接参加していない職員間にも、利用者処遇について考え、新たな活動を提案するという意識が芽生え始めた。 〈今後の課題〉 ○施設間交流に参加した職員が、施設業務改善を目的とした活動を展開する。 余暇活動の利用者処遇 日常業務の改善 個別ケアの開拓 ○他施設職員へ、新たな活動提案の促進。 ○他施設や地域との合同余暇活動を展開する。
---	--

【メモ欄】